

恵庭岳の火山活動解説資料（令和3年1月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1～2）

25日に上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）を実施しました。山頂東側の爆裂火口内では弱い白色噴気が認められ、前回の観測（2020年12月）と比べて、爆裂火口の状況に変化はありませんでした。



図1 恵庭岳 周辺図及び写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています。

2021年1月25日
国土交通省北海道開発局の協力による



2020年12月7日
国土交通省北海道開発局の協力による



図2 恵庭岳 山頂東側の爆裂火口の状況

上図：北側上空（図1の①）から撮影

下図：東側上空（図1の②）から撮影

- ・ 前回の観測（2020年12月）と同様、山頂東側の爆裂火口からは弱い白色噴気が認められ、爆裂火口の状況に大きな変化はありませんでした。